

2018 スーパーFJ 東北シリーズRd.3 参戦報告



Yota Nakatani



Mey handmade accessories

スポーツランドSUGO

約1ヶ月のインターバルをあげ、スーパーFJ東北シリーズ第3戦を迎えました。

前回の開幕2連戦は、レースデビューということもありレースウィークがどのように進行するのかわかいていませんでしたが、今回は前回の経験があるため言い訳は通用しません。

更に前回2連勝したドライバーがエントリーしていないということで、リベンジできないという、どうにもやりきれない思いがありました。もちろん目指すべきは優勝ただ一つです。

以前オーバードライブが原因で敗北したこともあり今回は落ち着いて、冷静にフリー走行から丁寧なドライビングを心がけるようにしました。

しかし攻めるところは攻める必要があるのでメリハリのあるレースにすることを目標としました。



5/24(木) フリー走行3本

1ヶ月ぶりのSUGOの走行は前日夜まで雨が降っていましたが朝には晴れ間が広がっていました。

1本目は第2戦決勝で使用した56km走行のタイヤで走行開始。ラバーが乗っていないため前回よりグリップが低く、オーバーステア傾向でしたが、そこまで乗りにくさはありませんでした。しっかりクリッピングポイントをトレースして走りまですのタイムを刻むことに成功。

Best 1'31"562



2本目、タイヤはそのまま走行。気温が高くなっていきタイヤがタレてきたので、決勝での後半を想定してコンスタントにタイムを出すことを意識しつつ、1～3コーナーではいくつかのラインを試しました。

Best 1'31"393

3本目、2本目でラインをいくつか試し、タレたタイヤでベストを更新できたので、いい感触だったラインを使い2本目と同じく決勝を想定し丁寧に走行。ベスト更新はなりませんでした、いいラップを連続で刻めました。

Best 1'31"428

5/25(金) フリー走行2本

この日は予選の前日ということで1本目にニュータイヤを投入。ただリアタイヤは半年ほど前からあった未使用のタイヤで完全なニュータイヤではないのでどう影響するか探りながら走行開始。前日スーパーFJの走行後F3が走行したためラバーが乗りグリップが予想通り上がっていました。しかし、コーナー進入ではしっかりリアがグリップするのに対し切り込んでいくと急にリアのグリップが失われることがあり古いリアタイヤが少し影響していたのかもしれない。もう少しいいタイムが出ると思っていたので原因を探します。

Best1'30"930

2本目の前に監督とメカニックと話をして、リアのキャンバーを少しつけることにしました。結果的にはこれが正解でした。1本目に出ていたリアのグリップが安定しない症状が軽減されることに。気温は上がり、タイヤもタレてきたいたのでベスト更新はなりませんでしたが、中古タイヤでベストに近いタイムでラップを重ねることができました。予選では燃料も軽くするため更にタイムアップを見込めます。

Best1'31"105



5/26(土) 公式予選

午前11時から第3戦の公式予選が始まります。
午前8時半に車検を終わらせ予選まで待機します。
前日のスーパーFJ走行の後にF3とスーパーフォーミュラの占有走行があったため更にラバーが乗っていることが予想されたので、前日のセッティングからリアのスタビライザーをさらに硬くセッティングしてもらいました。



午前11時コースイン。タイムの近い4台で等間隔にアタックしていきます。恐らくスリップストリームは効かない距離感でした。まず初めに僕が1'30"670をマークしトップに浮上。しかし5号車がすぐにタイムを塗り替え2番手へ。計測6ラップ目に1'30"290をマークし再びトップへ浮上。しかし次のラップで5号車が1'30"264でトップへ。諦めず計測8ラップ目に1'30"246を出し三度トップへ。予選残り時間2分、前でアタックをしていた5号車、36号車が僕を前に出しスリップストリームを利用してタイムアップを図りましたが、破られることなくポールポジション獲得。2番手5号車との差は0.018秒。3番手36号車との差は0.061秒。大接戦を制することができました。塗り替えられても諦めることなく冷静にアタックを続けたことが勝因です。 **Best1'30"246**

5/26(土) 第3戦 決勝

予選後、決勝は16時スタートだったので長いインターバルをスーパーフォーミュラの予選やF3の決勝を見て勉強しつつモチベーションを上げていました。初ポールで緊張するかと思いましたが、案外リラックスしてグリッドにつくことができました。フォーメーションラップはポールポジションのドライバーがコントロールできる特権があるので、早目のペースで自分はしっかりタイヤを温めました。全車グリッドに戻り、シグナル点灯からブラックアウト。スタートをミスして2番手に後退してしまいます。

しかし決勝のペースでは自信があったので落ち着いて後ろから圧力をかけていきます。迎えた6ラップ目SPコーナー2つ目でトップの5号車がスピン。上手くかわし最終コーナー手前でトップへ浮上。しかしスピンした車両をかわすため失速し1コーナーで4番手スタートの69号車に抜かれ再び2番手へ。この後も先ほどと同じく後ろに張り付き圧をかけ続けます。すると8ラップ目の最終コーナーで69号車が失速してメインストレートでトップへ返り咲き。69号車にはエンジンのトラブルが出ていたようです。その後は徐々に後続を引き離していき、4秒差をつけてトップでチェッカーを受けました。デビュー3戦目にしてポールtoウィンを獲得できました。 **予選1位→決勝1位**



～まとめ～

今回もたくさんのご声援・ご支援をありがとうございます。
支援がなければレース参戦も危ぶまれましたが皆様のおかげで参戦が可能となりました。
そんな方々に、ポールtoウィンという結果で少しだけでも恩返しすることができ嬉しいです。

予選では超僅差の中ポールポジションを獲得できたのは自信に繋がりました。
前回と違い丁寧なドライビングができたと思います。

しかし結果だけ見ればポールtoウィンですが、僅差ではありますが決勝のベストラップは獲得できませんでしたし、またレース展開も後半の後続を徐々に引き離していく展開を、スタートを決めレース序盤からしていく予定だったので、まだまだ課題は残ります。

次戦はまた第4.5戦の連戦なので、課題をクリアしていきながらいい流れのまま2戦とも完勝しチャンピオンを獲得します。
引き続き、ご声援・ご支援の程宜しくお願い致します。



Mey handmade accessories